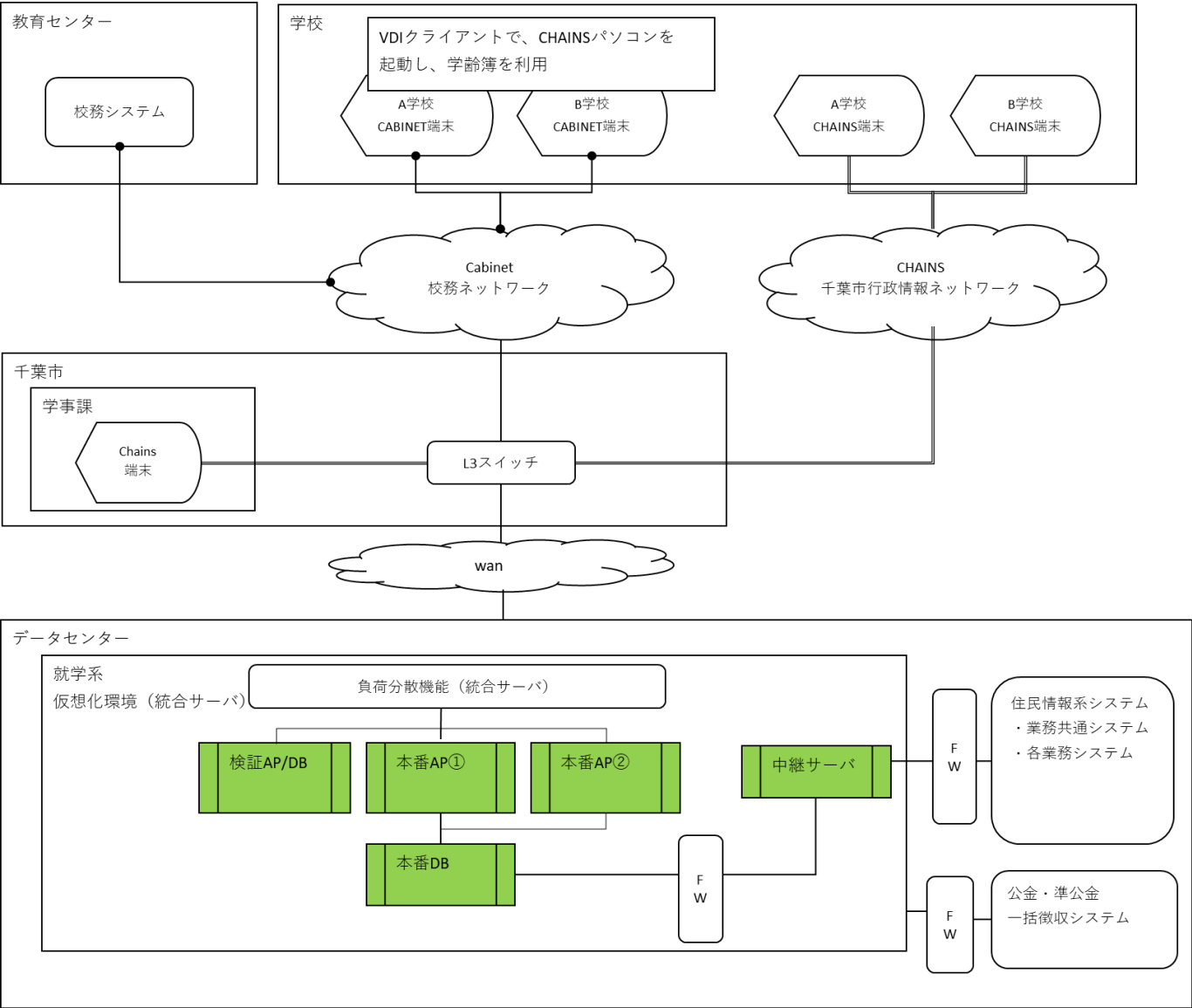


システム構成図（現行：学齢簿・就学援助システム）



## 用語の定義

用 語		定 義
1	CHAINS 千葉市行政情報ネットワーク システム	庁内ネットワークを中核として形成される電子市役所の基盤であり、市の内外における情報交換、庁内組織の壁を越えた情報共有及び市民、事業者、他自治体等との協働による質の高い行政運営を実現するための情報基盤として、市の情報化を推進して行く役割を持つ。
2	Cabinet 千葉市教育情報ネットワーク	庁内ネットワークを利用し、千葉市教育センター施設内に設置されたサーバと、千葉市教育委員会組織規則（昭和 45 年千葉市教育委員会規則第 4 号）第 16 条に定める課及び、室ならびに第 20 条に定める教育機関ならびに市立学校に設置された電子計算機等のネットワーク P C から構成される情報システムをいう。
3	業務共通システム	本システムで利用する住民情報の内、住民記録システム・税務システム・福祉システムのデータを集約して管理する統合データベース情報を有し、データ連携により学齢簿・就学援助システムが利用する役割を持つ。  また、上記データ連携は本システムとのデータ連携を行うための機能であり、データ形式変換や文字コード変換等を実装し、各システム間の連携を疎とすることで、データ利用側システムは、データ提供側システムの影響を受けることなく、効率的にデータ連携を行うことが可能となる。
4	統合サーバ	本業務システムは、本市が別途用意するプライベートクラウド・仮想化環境で構築する。これにより、ハードウェア資源を集約化させ、必要最小限のハードウェア構成で運用する財政負担の少ないシステムとすることが可能となる。
5	公金・準公金一括徴収システム	市が別途構築を行うシステムであり、学校における給食費（公金）及び学校徴収金（準公金）などを、保護者から一括徴収し、管理するためのシステムであり、統合サーバ上で構築される。